

Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences Graduate School

学生募集要項 2027年度

保健医療学研究科

博士前期課程

博士後期課程

看護学研究科

修士課程



東京有明医療大学大学院

建学の精神

豊かな知識と確かな技術並びに患者の目線を大切にするバランスのとれた医療人を養成するとともに、研究的視点を兼ね備えた人材を育成し、社会に貢献する。

教学の理念

本学は、深く保健、医療、福祉に関する専門の学問を教授研究し、職業及び社会生活に必要な教育を施し、高い倫理観に基づく人間形成を重んじ、国民の保健衛生に寄与すると共に、国際性に富む有為の人材を育成する。

1. 豊かな人間性と高い倫理観とを兼ねそなえた人材の育成
2. 保健、医療、福祉に対する深い見識をもち、国民の健康づくりに幅広く貢献できる人材の育成
3. 確かな技術と深い洞察力をもって健康を望む全ての人に適切な治療とケアを提供できる人材の育成
4. 臨床、研究を通じて医療の国際的な発展に貢献することのできる人材の育成

CONTENTS

保健医療学研究科 2

アドミッションポリシー

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシー

【博士前期課程】 5 ~ 9

【博士後期課程】 10 ~ 13

【前期・後期課程共通】 14

看護学研究科 15

アドミッションポリシー

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシー

【修士課程】 17 ~ 21

両研究科共通 22

保健医療学研究科

補完代替医療のなかでも伝統医学に分類される鍼灸・柔道整復は、長い歴史のなかで経験的にその有用性が認められてきました。欧米諸国で現代医学的な立場から補完代替医療へのアプローチが進む一方で、日本においては、その効果やメカニズムを科学的に証明することのできる人材の育成が急務とされています。

保健医療学研究科は、そのような時代のニーズに応え、高度な最新医学知識や医科学研究の素養を育む段階的・体系的なカリキュラムを設定。鍼灸学・柔道整復学の確立に寄与できる医療専門職業人の育成を目指し、超高齢社会を迎える日本の医療に貢献していきます。

□保健医療学研究科の構成

より深い学問的知識を背景とした
高度な医療の提供

より全人的な立場で
患者と接することのできる医療人の育成

保健医療学研究科

保健医療学専攻 鍼灸学分野

鍼灸学の礎となる高度な現代医学、より高度な専門性を備えた鍼灸学および医科学研究の素養を身につけた高度な医療専門職業人

保健医療学専攻 柔道整復学分野

柔道整復学の礎となる高度な現代医学、より高度な専門性を備えた柔道整復学および医科学研究の素養を身につけた高度な医療専門職業人

■ 博士前期課程 入学定員7名(修業年限2年)

■ 博士後期課程 入学定員2名(修業年限3年)

保健医療学研究科【博士前期課程】

保健医療学専攻

アドミッション・ポリシー

保健医療学研究科は、医科学研究の素養を備えた教育者・臨床家・研究者として、根拠に基づく鍼灸学・鍼灸術、柔道整復学・柔道整復術の確立ならびに国民の健康・福祉の向上に資することのできる有為な人材を養成することを目指しています。

そのため、以下のような大学院生を求めます。

保健医療学専攻【鍼灸学分野】

- ①鍼灸学に対して熱意のある、高い倫理観を備えた者。
- ②鍼灸の科学化に高い関心を持っている者。
- ③将来、鍼灸の業界において高度な医療専門職業人として指導的立場となり、または鍼灸学の学問的普及・発展を担うリーダーとして、社会貢献していく強い意欲を持っている者。

保健医療学専攻【柔道整復学分野】

- ①柔道整復学に対して熱意のある、高い倫理観を備えた者。
- ②柔道整復の科学化に高い関心を持っている者。
- ③将来、柔道整復の業界において高度な医療専門職業人として指導的立場となり、または柔道整復学の学問的普及・発展を担うリーダーとして、社会貢献していく強い意欲を持っている者。

カリキュラム・ポリシー

保健医療学研究科では、大学院設置の趣旨及び人材養成目標を実現するための教育課程を編成している。

教育課程は共通科目、専門科目及び特別研究から構成される。

共通科目には、本大学保健医療学部専門基礎科目を基盤として、鍼灸学分野、柔道整復学分野における研究の基礎となる高度で幅広い医学的知識を身につけるために現代医学を中心とした科目を配置した。

専門科目には、本学部鍼灸学科及び柔道整復学科それぞれの専門科目を基礎として、鍼灸学分野、柔道整復学分野のそれぞれの専門性を高めるための科目を配置した。

鍼灸学分野では鍼灸研究法特論、鍼灸研究法演習及び鍼灸研究法実習、柔道整復学分野では基礎柔道整復学特論、臨床柔道整復学演習及び応用柔道整復学演習の科目を配置している。

特別研究における研究領域として、「鍼灸学」、「柔道整復学」の2領域を配置している。

ディプロマ・ポリシー

博士前期課程に2年以上在学し、共通科目14単位以上(必修科目2単位を含む)、専門科目8単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得、学位論文の審査及び最終試験に合格し、

- ①鍼灸学、柔道整復学を基盤として、その学術の理論と応用を発展的に究めることのできる、
 - ②鍼灸学、柔道整復学について高度な専門性を備えた、
 - ③根拠に基づく鍼灸学、柔道整復学の確立に資することのできる、
 - ④高度な最新医学知識を有し、医科学研究の素養を修得した、
 - ⑤地域社会に貢献できる者
- に修士(鍼灸学)または修士(柔道整復学)の学位を授与する。

保健医療学研究科【博士後期課程】

保健医療学専攻

アドミッション・ポリシー

高等研究教育機関を目指す本学の使命として、本学大学院保健医療学研究科において、博士後期課程は保健医療学の高等研究機関とし、これによって、鍼灸学分野および柔道整復学分野において博士号を有する人材を養成し、この過程において、鍼灸学、柔道整復学の研究を通じて両者の学問体系を磐石ならしめるとともに、養成された人材が、将来、それぞれの分野において指導的な立場となって、鍼灸学、柔道整復学の発展に寄与することを目指します。

そのため、以下のような大学院生を求めます。

保健医療学専攻【鍼灸学分野】

- ①鍼灸学の基礎的研究あるいは臨床的研究に情熱をもって取り組む鍼灸師または医学関連分野における高度職業専門人
- ②国際的な研究活動ができる研究者を目指し、世界の鍼灸学研究をリードする最前線の研究を目指す意欲をもっている鍼灸師または医学関連分野における高度職業専門人
- ③鍼灸学修士課程を修了した、またはそれと同等程度の広汎で高い基礎学力、研究業績、並びに高い見識と倫理観を身につけた鍼灸師または医学関連分野における高度職業専門人

保健医療学専攻【柔道整復学分野】

- ①柔道整復学の基礎的研究あるいは臨床的研究に情熱をもって取り組む柔道整復師または医学関連分野における高度職業専門人
- ②柔道整復学研究をリードする最先端の研究を目指す意欲をもっている柔道整復師または医学関連分野における高度職業専門人
- ③柔道整復学修士課程を修了した、またはそれと同等程度の広汎で高い基礎学力、研究業績、並びに高い見識と倫理観を身につけた柔道整復師または医学関連分野における高度職業専門人

カリキュラム・ポリシー

本博士後期課程は、学部ならび博士前期課程における教育・研究の理念と目的である「西洋医学の視点に立って東洋医学を考察できる」を基盤とし、専攻専門分野において「国内外で活躍できる自立した研究者」を育成するために必要な授業科目を設けた。具体的には独創性のある研究計画を立案し、それに基づいた研究を実践でき、その成果を博士論文としてまとめることができ、その成果を国内はもとより海外に発信できる国際性豊かな人材を育成するための教育課程を編成した。

教育課程の編成に当たり、専門性の一層の向上を図り、自立した研究者として国際的に通用する研究能力を育成するために、基礎研究と臨床研究を専門とする教員の指導を横断的に受けられる特別研究の指導体制を整え、基礎と臨床の両者を見据えた双方向性の研究ができる、教育課程の編成を目指す。さらに学生の自主的で活発な研究意欲を支援する立場から、授業時間外の特に他分野の研究会やセミナーなど多様な学習機会に積極的に参加させ教育課程の活性化を図る。

ディプロマ・ポリシー

- ①専門とした鍼灸学・柔道整復学分野において基礎から臨床研究まで横断的な深い学識を有する。
- ②国内並びに欧米を含む国外の学術雑誌から高度の情報を収集でき、それらを科学的な方法に基づき集約、解析、分析および評価ができる。
- ③収集した高度な情報やそれまで培った学識、能力、技術を基に、独創性の高い研究課題を見出すことができる。
- ④高度な研究技術を備え、独自の研究課題を解決するための実験や調査を自立して実践できる。
- ⑤筆頭著者として研究成果を原著論文として国内外の学術雑誌等に投稿・発表することができ、査読者とディスカッションができる。
- ⑥研究成果に関して国内外の研究者とディスカッションができるグローバルな情報発信能力を有する。
- ⑦専門分野のみならず、関連する分野(学際分野)において、独自にもしくは共同で研究を実践できる。
- ⑧医科学研究に対する深い理解と高度な倫理観をもって鍼灸学・柔道整復学の研究を実践できる。
- ⑨鍼灸学・柔道整復学の研究を通して人類の繁栄と福祉に貢献することができる。

保健医療学研究科【博士前期課程】

出願資格

次の①～⑩の各号のいずれかに該当する者、あるいは2027年3月末日をもって該当見込の者。

- ①大学を卒業した者。
 - ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。
 - ③外国において、学校教育における16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。
 - ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。
 - ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者。
 - ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年)の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - ⑦指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者。
 - ⑧旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)。
 - ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)。
 - ⑩本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた22歳以上の者。
- ※外国人留学生として修学を希望する者は、日本語能力試験N2以上、又はそれと同等以上の日本語能力を有していること。

保健医療学専攻(鍼灸学分野)においては、はり師免許およびきゅう師免許を有している者、あるいは2027年3月末日をもってはり師・きゅう師免許取得見込の者が望ましい。

保健医療学専攻(柔道整復学分野)においては、柔道整復師免許を有している者、あるいは2027年3月末日をもって柔道整復師免許取得見込の者が望ましい。

※外国人留学生として修学を希望する者は、免許を有しているか、あるいは同等の知識を有していること。

出願期間等

試験	募集人員	出願期間 2026/2027	試験日	合格発表日	入学金・学納金 納入締切日
一次募集	7名	10月 1日(木)～10月12日(月)	10月18日(日)	11月 2日(月) 10:00	11月13日(金)
二次募集		1月 6日(水)～1月22日(金)	1月31日(日)	2月 5日(金) 10:00	2月17日(水)

- 出願書類の提出は、アドミッションセンター窓口への持込み(出願期間中、日・祝を除く9:00～17:00。時間厳守)、または郵送(出願期間最終日の消印有効)とします。
- 一次募集において定員を充足した場合には、二次募集は実施しません。

入学検定料

30,000円

一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

指導教員の選定

出願者が希望する研究テーマに基づいて8・9ページの「特別研究テーマおよび指導教員(鍼灸学分野・柔道整復学分野)」を参考にして、志望する指導教員を選び、指導教員と事前に相談してください。事前相談をせずに出願することはできません(指導教員とは修士論文を指導する教員を指します)。

指導希望教員との事前相談を希望する場合は、本学ホームページ「大学院／お問い合わせ」の「問い合わせフォーム」より必要事項を入力してください。または、アドミッションセンター(03-6703-7000)にご連絡ください。

URL <https://www.tau.ac.jp/department/graduateschool/>

入力していただくと、アドミッションセンターより希望の指導教員に内容が転送されます。



本学HP
[大学院]

選抜内容

■選抜方法

内容	備考
口述試験・面接	専門分野に関する口述試験及び面接試験

試験会場および試験日

■試験会場 東京有明医療大学 東京都江東区有明2丁目9番1号 TEL.03-6703-7000

試験日	試験当日のスケジュール
一次募集 2026年10月18日(日)	入場開始 8:40
二次募集 2027年 1月31日(日)	集合 9:10
	口述試験・面接 9:30～

- (注) ①試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り受験を認めます。
②受験票は試験当日必ず携行してください。

専攻分野・教育課程等の概要

保健医療学研究科保健医療学専攻には、鍼灸学分野と柔道整復学分野を設けています。

■鍼灸学分野

鍼灸適応疾患の中でも、特に筋骨格系疾患、高齢化に伴い増加している慢性的な疼痛疾患や不定愁訴、および女性特有の疾患や愁訴を対象とし、これらにかかわる高度な専門的知識や鍼灸の治療技術を習得していく。同時に、これらの疾患や愁訴に対する鍼灸治療の臨床効果とその医科学研究方法について探究し、また臨床生理学的手法を用いた鍼灸の神経機能に及ぼす作用機序について追究していく。

■柔道整復学分野

日本における伝統的治療技術である柔道整復術は、主に骨折、脱臼、捻挫、打撲を施術対象とし、保存的治療がなされる。これらの外傷をバイオメカニクスの研究手法や超音波画像観察装置、その他の機器を用いて現代医学的観点から科学的に解明するとともに、柔道整復術に関わる主要な書籍の検証や柔術・柔道との関わりを追究していく。

■共通科目

大学院における研究活動に不可欠な文献検索法や統計学、研究デザイン作成法などを学びます。学部で修得した専門基礎科目を高度化し、臨床研究の基盤となる医科学的知識を学修します。

■専門科目

研究領域にそって3科目を選択。鍼灸学・柔道整復学それぞれの分野における先駆者の一員を目指し、学術の理論と応用を発展的に究めます。

特別研究に必要な知識・研究法も学修し、修士論文につなげます。

■特別研究

研究領域として鍼灸学と柔道整復学の2領域を配置しています。

特別研究の指導教員が提示する研究分野から研究テーマを選び、各分野において医科学研究に関する知識や技能を修得します。

■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数	
			必修	選択
共通科目	保健医療学研究法	1年次前期	2	
	解剖学特論	1年次前期		2
	解剖生理学実習	1年次後期		2
	生理学特論	1年次前期		2
	免疫病理学特論	1年次後期		2
	薬理学特論	1年次前期		2
	伝統医学特論	1年次後期		2
	外傷学特論	1年次前期		2
	健康管理学特論	1年次後期		2
	女性医療学特論	1年次前期		2
	健康科学特論	1年次後期		2
	スポーツ医科学特論	1年次前期		2
専門科目	鍼灸研究法特論	1年次前期		2
	鍼灸研究法演習	1年次後期		2
	鍼灸研究法実習	2年次通年		4
	基礎柔道整復学特論	1年次前期		2
	臨床柔道整復学演習	1年次後期		2
	応用柔道整復学演習	2年次通年		4
特別研究		1～2年次通年	8	

修業年限・修了要件および授与される学位等

■修業年限 2年

■修了要件および授与される学位等

【単位の修得方法・修了要件】

共通科目14単位以上（必修科目2単位を含む）、専門科目8単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

【学位】

修了要件を満たした者に対して、修士（鍼灸学）、または修士（柔道整復学）の学位を授与する。

鍼灸学分野

分野	特別研究テーマ	指導教員
鍼灸学	疼痛性疾患及び循環障害に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	坂井 友実 教授 ● 博士(鍼灸学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	高倉 伸有 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	消化器系疾患の疼痛に対する鍼灸治療の鎮痛効果に関する基礎的研究	田中 滋城 教授 ● 医師 ● 医学博士 ● 日本内科学会認定内科医 ● 日本医師会認定産業医 ● 日本消化器病学会専門医
	女性および高齢者に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	安野 富美子 教授 ● 博士(理学) ● はり師・きゅう師
	アスレティックトレーニングについての社会科学研究	泉 秀幸 教授 ● 博士(スポーツ科学) ● Doctor of Athletic Training (DAT) ● NATA-BOC公認アスレティックトレーナー ● (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	肩関節疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 運動器疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究	水出 靖 教授 ● 博士(スポーツ医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 特別支援学校教諭一種(理療) ● 介護支援専門員
	臨床神経生理学的手法を用いた鍼灸の作用機序および治療効果に関する基礎的臨床的研究	木村 友昭 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	矢嵐 裕義 教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 柔道整復師
	鍼灸領域の感染対策に関する研究ならびに低周波鍼通電療法に関する臨床的研究	菅原 正秋 准教授 ● 博士(感染制御学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	ヒトを対象とした鍼とプラセボ効果に関する研究	高山 美歩 准教授 ● 博士(医学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ● 看護師 ● 保健師
	体性一自律神経を用いた鍼灸刺激による臓器機能調節に関する研究 ～循環、消化器、泌尿器、生殖器を指標に～	谷口 博志 准教授 ● 博士(鍼灸学) ● はり師・きゅう師
	がん緩和ケア領域における鍼灸に関する研究・鍼灸の「意味」に関する研究	高梨 知揚 准教授 ● 博士(人間科学) ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	スポーツ医科学における鍼灸に関する研究	藤本 英樹 准教授 ● 博士(スポーツ医学) ● はり師・きゅう師

柔道整復学分野

分野	特別研究テーマ	指導教員
柔道整復学	歴史的に継承されてきている柔道整復師の伝統的技法についての科学的検証に関する研究	成瀬 秀夫 教授 ● 博士(医学) ● 柔道整復師 ● はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	今日の救命救急法の観点から見た柔術の歴史と活法に関する研究	鈴木 秀一 教授 ● 医師 ● 博士(医学) ● 外科専門医 ● 日本呼吸器学会指導医・専門医 ● 日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医
	運動器の健康に関する研究 (外傷・障害の発生メカニズムとそれにもとづく外傷・障害予防に関する研究、有運動器疾患者に適したトレーニングに関する研究ほか)	入江 一憲 教授 ● 医師 ● 博士(医学) ● 日本整形外科学会専門医 ● (公認)日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	柔道整復学の学問的確立のための分子細胞生物学手法による病気のメカニズム解明の基礎研究	寺井 政憲 教授 ● 博士(歯学) ● 歯科医師
	柔術・柔道と骨折・脱臼の保存的整復・固定技術との関わりについての歴史的発展からの研究	橋本 昇 教授 ● 龍仁大学(韓国)名誉博士(体育学) ● 体育学士 ● 柔道整復師
	スポーツ科学分野におけるバイオメカニクス、スポーツ障害および予防科学を中心とした柔道整復学のエビデンス確立に寄与する研究	櫻井 敬晋 教授 ● 博士(スポーツ科学) ● 柔道整復師
	障害者柔道の普及に関する研究	徳安 秀政 教授 ● 博士(医学) ● (公認)日本スポーツ協会公認柔道コーチ
	運動器の機能解剖学に基づく四肢外傷の保存療法に関する研究	中澤 正孝 教授 ● 博士(医学) ● 柔道整復師
	柔道整復術の臨床的研究 —超音波画像装置を用いた運動器疾患の研究—	福田 翔 講師 ● 博士(柔道整復学) ● 柔道整復師 ● はり師・きゅう師

保健医療学研究科【博士後期課程】

出願資格

以下の①～⑦の各号のいずれかに該当する者、あるいは2027年3月末日をもって該当する見込みの者。

- ①修士の学位や専門職学位を有する者。
- ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- ④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者。
- ⑦本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位や専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた24歳以上の者。

出願期間等

試験	募集人員	出願期間 2026/2027	試験日	合格発表日	入学金・学納金 納入締切日
一次募集	2名	10月 1日(木) ~ 10月12日(月)	10月18日(日)	11月 2日(月) 10:00	11月13日(金)
二次募集		1月 6日(水) ~ 1月22日(金)	1月31日(日)	2月 5日(金) 10:00	2月17日(水)

- 出願書類の提出は、アドミッションセンター窓口への持込み(出願期間中、日・祝を除く9:00~17:00。時間厳守)、または郵送(出願期間最終日の消印有効)とします。
- 一次募集において定員を充足した場合には、二次募集は実施しません。

入学検定料

30,000円

一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

指導教員の選定

出願者が希望する研究テーマに基づいて13ページの「特別研究テーマおよび指導教員(鍼灸学分野・柔道整復学分野)」を参考にして、志望する指導教員を選び、指導教員と事前に相談してください。事前相談をせずに出願することはできません(指導教員とは博士論文を指導する教員を指します)。

指導希望教員との事前相談を希望する場合は、本学ホームページ「大学院／お問い合わせ」の「問い合わせフォーム」より必要事項を入力してください。または、アドミッションセンター(03-6703-7000)にご連絡ください。

URL <https://www.tau.ac.jp/department/graduateschool/>

入力していただくと、アドミッションセンターより希望の指導教員に内容が転送されます。



本学HP
[大学院]

選抜内容

■選抜方法

内容	備考
筆記試験(英語)	辞書・電子辞書持ち込み可(計2点まで)。 ただし、電子辞書は、通信機能がないものとし、消音で使用すること。 ※スマートフォン・タブレットおよびPCの持ち込み(辞書アプリの使用)不可。
口述試験・面接	専門分野に関する口述試験及び面接試験

試験会場および試験日

■試験会場 東京有明医療大学 東京都江東区有明2丁目9番1号 TEL.03-6703-7000

試験日	試験当日のスケジュール
一次募集 2026年10月18日(日)	入場開始 8:40 集合 9:10
二次募集 2027年1月31日(日)	筆記試験(英語) 9:30～10:30 休憩 10:35～10:55 口述試験・面接 11:00～

(注) ①試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り受験を認めます。

②受験票は試験当日必ず携行してください。

専攻・分野および教育・研究内容

保健医療学研究科保健医療学専攻には、鍼灸学分野と柔道整復学分野を設けています。

■保健医療学国際関係特講

(共通科目1年次前期・必修、2単位・30時間)

保健医療学研究に係る必修科目として1年前期にオムニバス形式で講義・演習を行う。

■保健医療学研究特講

(共通科目1年次前期・必修、2単位・30時間)

保健医療学研究に係る必修科目として1年前期にオムニバス形式で講義・演習を行う。

■鍼灸学分野

- 1) 鍼灸学特別研究1 (1年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 2) 鍼灸学特別研究2 (2年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 3) 鍼灸学特別研究3 (3年次通年・選択必修、4単位・60時間)

から構成される。

特別研究1～3はそれぞれを1単位・15時間を基本として、博士論文作成のための講義・演習・実習は演習形式を主体として、選択した研究の内容に沿って適宜行う。特別研究については主として修士課程での研究を基盤として、学生の希望、能力、経験、性格、興味、将来性などを十分考慮し学生と綿密に相談して決定する。博士後期課程は本学博士前期課程との連続性をもつが、医学研究は基礎研究と臨床研究が融合的に多様化・複雑化してきており、特別研究の指導に当たっては、指導教員の専門にこだわらず、基礎研究と臨床研究の両者の指導が受けられるよう、横断的な体制を整えて指導を行う。修業年限は3年とする。

■柔道整復学分野

- 1) 柔道整復学特別研究1 (1年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 2) 柔道整復学特別研究2 (2年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 3) 柔道整復学特別研究3 (3年次通年・選択必修、4単位・60時間)

から構成される。

特別研究1～3はそれぞれを1単位・15時間を基本として、博士論文作成のための講義・演習・実習は演習形式を主体として研究テーマの内容に沿って適宜行う。特別研究のテーマについては主として修士課程での研究テーマを基盤として、学生の希望、能力、経験、性格、興味、将来性などを十分考慮し学生と綿密に相談して決定する。博士後期課程は本学博士前期課程との連続性をもつが、柔道整復学研究は基礎研究と臨床研究が融合的に多様化・複雑化してきており、特別研究の指導に当たっては、指導教員の指導の枠にこだわらず、基礎研究と臨床研究の両者からの研究指導や助言ができるような横断的な指導体制を整え指導を行う。修業年限は3年とする。

■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数	
			必修	選択
共通科目	保健医療学国際関係特講	1年次前期	2	
	保健医療学研究特講	1年次前期	2	
特別研究	鍼灸学分野	鍼灸学特別研究1		4
		鍼灸学特別研究2		4
		鍼灸学特別研究3		4
	柔道整復学分野	柔道整復学特別研究1		4
		柔道整復学特別研究2		4
		柔道整復学特別研究3		4

修業年限・修了要件および授与される学位等

■修業年限 3年

■修了要件および授与される学位等

【単位の修得方法・修了要件】

共通科目で4単位(必修)、特別研究12単位(鍼灸学分野は、鍼灸学特別研究1～3を選択、柔道整復学分野は、柔道整復学特別研究1～3を選択)合計16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

【学位】

修了要件を満たした者に対して、博士(鍼灸学)、または博士(柔道整復学)の学位を授与する。

分野	特別研究テーマ	指導教員
鍼灸学	疼痛性疾患並びに循環障害に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	坂井 友実 教授 ●博士(鍼灸学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	高倉 伸有 教授 ●博士(医学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	消化器系疾患の疼痛に対する鍼灸治療の鎮痛効果に関する基礎的研究	田中 滋城 教授 ●医師 ●医学博士 ●日本内科学会認定内科医 ●日本医師会認定産業医 ●日本消化器病学会専門医
	女性および高齢者に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	安野 富美子 教授 ●博士(理学) ●はり師・きゅう師
	アスレティックトレーニングについての社会科学研究	泉 秀幸 教授 ●博士(スポーツ科学) ●Doctor of Athletic Training (DAT) ●NATA-BOC公認アスレティックトレーナー ●(公認)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	肩関節疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 運動器疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究	水出 靖 教授 ●博士(スポーツ医学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ●特別支援学校教諭一種(理学) ●介護支援専門員
	臨床神経生理学的手法を用いた鍼灸の作用機序および治療効果に関する基礎的臨床的研究	木村 友昭 教授 ●博士(医学) ●はり師・きゅう師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	矢嵐 裕義 教授 ●博士(医学) ●柔道整復師 ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸領域の感染対策に関する研究ならびに低周波鍼通電療法に関する臨床的研究	菅原 正秋 准教授 ●博士(感染制御学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	スポーツ医科学における鍼灸に関する研究	藤本 英樹 准教授 ●博士(スポーツ医学) ●はり師・きゅう師
柔道整復学	柔道整復術の科学的検証に関する臨床研究 －超音波観察装置による組織同定に関する研究－	成瀬 秀夫 教授 ●博士(医学) ●柔道整復師 ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	柔道整復学の学問的確立のための基礎研究 －西洋医学的蘇生法から見た柔道の活法に関する研究－	鈴木 秀一 教授 ●医師 ●博士(医学) ●外科専門医 ●日本呼吸器学会指導医・専門医 ●日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医
	運動器の健康に関する研究(外傷・障害の発生メカニズムとそれにもとづく外傷・障害予防に関する研究、有運動器疾患者に適したトレーニングに関する研究ほか)	入江 一憲 教授 ●医師 ●博士(医学) ●日本整形外科学会専門医 ●(公認)日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	柔道整復学の学問的確立のための基礎研究 －間葉系幹細胞の骨、軟骨、筋への分化に関する分子細胞生物学的研究－	寺井 政憲 教授 ●博士(歯学) ●歯科医師
	スポーツ科学分野におけるバイオメカニクス、スポーツ障害および予防科学を中心とした柔道整復学のエビデンス確立に寄与する研究	櫻井 敬晋 教授 ●博士(スポーツ科学) ●柔道整復師

本大学院出願資格5ページ⑩号（本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者で、2027年3月31日現在で22歳以上の者。）もしくは10ページ⑦号（本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位や専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月31日現在で24歳以上の者。）より本学へ出願する者については、事前に本大学院における個別の入学試験出願資格審査を受け、出願資格を認められた場合に限り出願できるものとします。

■審査に必要な書類

- 提出された書類は返却しません。

博士前期課程	<ul style="list-style-type: none"> ①入学試験出願資格認定申請書（様式第1号） ②出願資格⑩号を満たすことが証明される書類 ③その他本学が審査等に必要と認めた書類
博士後期課程	<ul style="list-style-type: none"> ①入学試験出願資格認定申請書（様式第1号） ②出願資格⑦号を満たすことが証明される書類 ③その他本学が審査等に必要と認めた書類

■申請期限

入学試験の出願開始1週間前までとします。

【提出先】

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号

東京有明医療大学大学院 アドミッションセンター TEL.03-6703-7000

■審査内容

博士前期課程	<ul style="list-style-type: none"> ①申請者の専修学校等における学修歴などに基づいて、<u>大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</u>であるかどうかを審査します。 ②申請者の社会における実務経験や取得した資格などに基づいて、<u>大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</u>であるかどうかを審査します。
博士後期課程	<ul style="list-style-type: none"> ①申請者の大学等における学修歴などに基づいて、<u>修士の学位や専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者</u>であるかどうかを審査します。 ②申請者の社会における実務経験や取得した資格などに基づいて、<u>修士の学位や専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者</u>であるかどうかを審査します。

■審査方法

出願資格審査は、原則として書類審査により実施します。

■審査結果の通知

審査の結果については、当該入学試験の出願開始の日までに申請者に郵送により通知します。

出願資格を認められた者には、「入学試験出願資格認定書」を交付しますので、出願書類として提出してください。

看護学研究科

看護系大学の増加にともない、看護の科学化と学問化の動きは急速に進展しています。看護学の周辺学問が高度に発展している現代において、専門的かつ科学的な知識と高度な実践能力を備えた看護師が求められています。看護学研究科では、「基盤看護学」と「実践看護学」の2領域8分野の専門科目を開講し、優れた教育・実践研究者を養成します。高度な医療技術に対応できる知識と医療人としての人間力を養うとともに、保健・医療・福祉の分野における先駆的指導者の育成を図ります。

□看護学研究科の構成

設置の主旨・目的

- ①大学における教育・研究者の養成
- ②高度な知識・技術を備えた専門職者の養成

看護学部の教育方針を継承・第一級の看護を提供できる人材の育成

看護学研究科

看護学の学問的基盤となる高度な知識を修得し、医療人として人間力を備えた優れた教育・研究者

看護学の専門性を活かして、保健・医療・福祉の分野における先駆的指導者として活躍できる人材

■ 修士課程 入学定員3名(修業年限2年)

看護学研究科【修士課程】

看護学専攻

アドミッション・ポリシー

設置の趣旨及び人材養成目標を踏まえ、次にあげるような学生を求めます。

- ①看護学について専門分野の研究の修得を目指す者
- ②基礎的な知見から科学的根拠に基づいた看護学研究の修得を目指す者
- ③国内外の研究に常に関心を持つ者
- ④教育力、人間力を培うことに意欲的な者

本研究科は、大学を卒業した者または社会で既に一定のキャリアを積んだ社会人を対象に、基盤看護学並びに実践看護学の領域において、優れた研究・教育能力を備えた人材を育成します。同時に、多様に变化する社会の健康問題に対して、エビデンスを確実にとらえ、さらにその実態から国民の心身の健康保持・増進のために、看護職が果たす役割をそれぞれの専門分野において戦略的に取り組む資質を育成し、看護学の発展に寄与することができる人材を育成します。

カリキュラム・ポリシー

看護学研究科は、基盤看護学領域と実践看護学領域の2領域を開設している。

基盤看護学領域には、基礎看護学分野、看護情報・管理学分野があり、実践看護学領域には、慢性看護学分野、母子看護学分野、地域看護学分野、老年看護学分野、精神看護学分野、クリティカルケア看護学分野がある。また、看護学の各専門領域を探求するための基盤となる共通科目を設置している。共通科目のなかでも、研究能力育成のための科目と看護学を深く洞察し学問としての基礎を養う科目は、必修科目として位置づけている。各分野においては、特論および演習を通して専門分野を体系的に修得できるよう組み立てられている。

ディプロマ・ポリシー

所定の期間修士課程に在学し、看護学研究科の修了要件となる単位を取得、学位論文の審査に合格、以下の要件を満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

- ①研究に関する基礎的能力
- ②ヘルスケアにおけるさまざまな現象に対して、論理的かつ批判的に分析、探求する能力
- ③自己の専門分野を通して、看護学の発展に寄与することができる能力
- ④幅広い視野と高い倫理観を備え、人々の健康増進に研鑽することができる能力
- ⑤ヘルスケアシステムにおいて、他職種と協働し看護の役割を發揮できる能力

看護学研究科【修士課程】

出願資格

以下の①～⑩の各号のいずれかに該当する者、あるいは2027年3月末日をもって該当する見込みの者。

- ①大学を卒業した者。
 - ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。
 - ③外国において、学校教育における16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。
 - ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。
 - ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者。
 - ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年)の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - ⑦指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者。
 - ⑧旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)。
 - ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)。
 - ⑩本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認めた22歳以上の者。
- ※外国人留学生として修学を希望する者は、日本語能力試験N2以上、又はそれと同等以上の日本語能力を有していること。

出願期間等

試験	募集人員	出願期間 2026/2027	試験日	合格発表日	入学金・学納金 納入締切日
一次募集	3名	9月1日(火)～9月7日(月)	9月13日(日)	11月2日(月) 10:00	11月13日(金)
二次募集		1月6日(水)～1月22日(金)	1月31日(日)	2月5日(金) 10:00	2月17日(水)

- 出願書類の提出は、アドミッションセンター窓口への持込み(出願期間中、日・祝を除く9:00～17:00。時間厳守)、または郵送(出願期間最終日の消印有効)とします。
- 一次募集において定員を充足した場合には、二次募集は実施しません。

昼夜開講

文部科学省・大学院設置基準第14条を受け、社会人への支援体制の一環として、入学者と指導教員との合意があれば平日夜間および土曜日などに授業・研究指導を行います。

入学検定料

30,000円

一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

指導教員の選定

出願者が希望する研究テーマに基づいて20ページの「特別研究テーマおよび指導教員(領域・分野)」を参考にして、志望する指導教員を選び、指導教員と事前に相談してください。事前相談をせずに出願することはできません(指導教員とは修士論文を指導する教員を指します)。

指導希望教員との事前相談を希望する場合は、本学ホームページ「大学院／お問い合わせ」の「問い合わせフォーム」より必要事項を入力してください。または、アドミッションセンター(03-6703-7000)にご連絡ください。

URL <https://www.tau.ac.jp/department/graduateschool/>

入力していただくと、アドミッションセンターより希望の指導教員に内容が転送されます。



本学HP
[大学院]

選抜内容

■選抜方法

内容	備考
筆記試験(専門科目) ※施設推薦の場合は免除	専攻する専門分野に関する内容
口述試験・面接	専門分野に関する口述試験及び面接試験

施設推薦の方は筆記試験(専門科目)を免除します。

試験会場および試験日

■試験会場 東京有明医療大学 東京都江東区有明2丁目9番1号 TEL.03-6703-7000

試験日	試験当日のスケジュール
一次募集 2026年9月13日(日)	入場開始 8:40 集合 9:10 筆記試験(専門科目) 9:30～10:30
二次募集 2027年1月31日(日)	休憩 10:35～10:55 口述試験・面接 11:00～

(注) ①試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り受験を認めます。

②受験票は試験当日必ず携帯してください。

教育課程等の概要

■領域の概要

基盤看護学領域

- 基礎看護学 看護学の学的構造を理解し、看護学の全体像を明らかにします。さらに看護の実践方法について学修します。
- 看護情報・管理学 看護情報学と看護管理学の両領域を学際的、包括的、発展的に取り扱うあらたな領域として、より幅広い視座のもとで看護における情報とそのマネジメントについて探究します。

実践看護学領域

- 慢性看護学 がんを含む慢性疾患とともに生きる人たちのセルフケアを支援し、QOLの向上に寄与できる人材を育成します。
- 母子看護学 乳幼児を中心とした、母子、親子の関係性を理解し、援助するための理論と実践の基礎と、その研究方法の基礎を修得することを目指す。
- 地域看護学 地域看護に必要な看護活動について幅広く学び、さらに専門職としての実践能力や研究能力の育成を図ります。
- 老年看護学 「生物としての人とその生命過程における老年期」の科学的理解を基盤に、老年看護の目的と対象、有効な実践方法を究明します。
- 精神看護学 病の意味について哲学的視点から考察します。さらに心身の癒しについて探求し、精神療法や芸術療法の理論と実践方法を学びます。
- クリティカルケア看護学 クリティカルケア看護を必要とする人を中心に据え、その人を取り巻く環境、家族や知人、社会資源などの間に存在する問題に目を向け、看護だけにとらわれないマクロな視点を持つ能力を養います。

■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
共通科目	看護理論特論	1年次前期	2		
	看護研究特論	1年次前期	2		
	看護教育学特論	1年次後期		2	
	看護倫理学特論	1年次後期		2	
	実用英語特論	1～2年次後期		2	
	解剖学特論	1～2年次前期		2	
	解剖生理学実習	1～2年次後期		2	
	生理学特論	1～2年次前期		2	
	疾患学特論	1～2年次後期		2	
	臨床心理学特論	1～2年次前期		2	
	基盤看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ	1年次前期		2
基礎看護学特論Ⅱ		1年次前期		2	
基礎看護学特論Ⅲ		1年次後期		2	
基礎看護学特論Ⅳ		1年次後期		2	
基礎看護学演習		2年次前期		2	
看護情報・管理学特論Ⅰ		1年次前期		2	
看護情報・管理学特論Ⅱ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅰ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅱ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅲ		1年次後期		2	
専門科目		実践看護学領域	慢性看護学特論Ⅰ	1年次前期	
	慢性看護学特論Ⅱ		1年次前期		2
	慢性看護学特論Ⅲ		1年次前期		2
	慢性看護学演習Ⅰ		1年次通年		2
	慢性看護学演習Ⅱ		1年次通年		2
	母子看護学特論Ⅰ		1年次前期		2
	母子看護学特論Ⅱ		1年次前期		2
	母子看護学特論Ⅲ		1年次前期		2
	母子看護学演習Ⅰ		1年次通年		2
	母子看護学演習Ⅱ		1年次通年		2
	地域看護学特論Ⅰ		1年次前期		2
	地域看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
	地域看護学演習Ⅰ	1年次前期		2	
	地域看護学演習Ⅱ	1年次通年		4	
	老年看護学特論Ⅰ	1年次前期		2	
	老年看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
	老年看護学特論Ⅲ	1年次前期		2	
	老年看護学演習Ⅰ	1年次通年		2	
	老年看護学演習Ⅱ	1年次通年		2	
	精神看護学特論Ⅰ	1年次前期		2	
	精神看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
	精神看護学特論Ⅲ	1年次前期		2	
	精神看護学演習Ⅰ	1年次通年		2	
精神看護学演習Ⅱ	1年次通年		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅰ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅱ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅲ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	1年次通年		2		
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	1年次通年		2		
	特別研究	1～2年次通年	8		

特別研究テーマおよび指導教員

特別研究テーマ	指導教員
<ul style="list-style-type: none"> ●実践、教育、研究など看護のあらゆる局面に根ざすデータ・情報・知識にかかわる理論構築、理論検証、システム開発 ●看護管理における意思決定に資するエビデンスの開発 	<p>前田 樹海 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師
<ul style="list-style-type: none"> ●小児看護学分野に関するテーマおよび教育的介入プログラムの実践・評価に関する研究指導を行う。 	<p>西山 智春 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●老年看護学分野における諸課題に関し、研究指導を行う。 <p>キーワード：エンドオブライフケア 老衰 虚弱 認知症 地域包括ケア</p>	<p>川上 嘉明 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●社会福祉士 ●ケアマネージャー
<ul style="list-style-type: none"> ●精神看護学、精神保健に関するテーマについて、研究指導を行う。 <p>(精神科訪問看護、精神科アウトリーチ支援、精神科地域支援 等)</p>	<p>角田 秋 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(保健学) ●看護師 ●保健師 ●精神保健福祉士
<ul style="list-style-type: none"> ●ケア現場の倫理的諸問題に対する介入モデルの構築と効果検証 ●概念形成を促進する教育介入プログラムの構築と実践的評価 <p>キーワード：モラルスペース、モラルイマジネーション、概念形成、アクションリサーチ</p>	<p>田仲 珠恵 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●「看護は学問か」という根源的な問いに対し、既存の枠組みに捉われず、その学問的基盤とケアの本質を再定義する研究 ●ミクロ経済学の理論枠組みを触媒に、看護という営みを客観的かつ俯瞰的な視点から構造化する、独自の学際的な研究 	<p>北島 泰子 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(経済学) ●看護師 ●救急救命士
<ul style="list-style-type: none"> ●「標準化」と「アドボカシー」の融合による、慢性期・終末期の尊厳の保持に関する研究：多文化共生社会における慢性期・終末期のアドボカシー、クリニカルパスの「標準化」と「個別化」の統合 	<p>笹鹿 美帆子 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●がん看護、緩和ケアに関するテーマについて研究指導を行う。 <p>キーワード：がん、意思決定支援、高齢がん患者、AYA世代、緩和ケア</p>	<p>門脇 緑 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師
<ul style="list-style-type: none"> ●母性看護学および助産学分野において、女性のライフサイクル全体を見据え、対象者の主体性を尊重した実践に関する研究指導を行う。 <p>キーワード：主体性 経産婦 性教育 育児支援</p>	<p>森山 希 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師 ●助産師

修業年限・修了要件および授与される学位等

■修業年限 2年

■修了要件および授与される学位等

【単位の修得方法・修了要件】

共通科目12単位以上(必修科目4単位を含む)、専門科目10単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

【学位】

修了要件を満たした者に対して、修士(看護学)の学位を授与する。

本大学院出願資格（17ページ参照）の⑩号（本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日現在で22歳以上の者。）により本学へ出願する者については、事前に本大学院における個別の入学試験出願資格審査を受け、出願資格を認められた場合に限り出願できるものとします。

■審査に必要な書類

• 提出された書類は返却しません。

- ①入学試験出願資格認定申請書（様式第1号）
- ②出願資格⑩号を満たすことが証明される書類
- ③その他本学が審査等に必要と認めた書類

■申請期限

入学試験の出願開始1週間前までとします。

【提出先】

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号
東京有明医療大学大学院 アドミッションセンター
TEL.03-6703-7000

■審査内容

- ①申請者の専修学校等における学修歴などに基づいて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者であるかどうかを審査します。
- ②申請者の社会における実務経験や取得した資格などに基づいて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者であるかどうかを審査します。

■審査方法

出願資格審査は、原則として書類審査により実施します。

■審査結果の通知

審査の結果については、当該入学試験の出願開始日までに申請者に郵送により通知します。

出願資格を認められた者には、「入学試験出願資格認定書」を交付しますので、出願書類として提出してください。

出願に際し、下記書類の提出が必要となります。

提出書類等	保健医療学研究科 博士前期課程	保健医療学研究科 博士後期課程	看護学研究科 修士課程	摘要
Web入学願書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出願登録後、マイページのメニュー「発行書類」から「Web入学願書」を印刷してください。 A4片面で印刷してください(モノクロ印刷可)。
成績証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出身大学において作成したもの(コピー不可)。 ただし、はり師・きゅう師養成学校(鍼灸学分野)、または柔道整復師養成学校(柔道整復学分野)を卒業した者はあわせて、養成学校が発行したもの(コピー不可)を提出してください。 後期課程: 修了(見込)した修士課程(博士前期課程)の大学院が発行したもの(コピー不可)。
卒業(見込)証明書	<input type="checkbox"/>	/	<input type="checkbox"/>	出身大学において作成したもの(コピー不可)。 成績証明書で卒業が証明される方は、卒業証明書を省略可。
卒業(見込)証明書	該当者のみ	/	/	はり師・きゅう師養成学校(鍼灸学分野)、または柔道整復師養成学校(柔道整復学分野)が発行し、厳封したもの(コピー不可)。 成績証明書で卒業が証明される方は、卒業証明書を省略可。
大学院入学試験出願資格認定書	該当者のみ			本大学院が発行する入学試験出願資格認定書。 所定の用紙は、本学ホームページからダウンロードできます。 *保健医療学研究科:P5・P10・P14参照 *看護学研究科:P17・P21参照
修士の学位取得(見込)証明書	/	<input type="checkbox"/>	/	出身大学院の学長または研究科長が証明したもの。出願資格②により出願する者は、「学位記」の写しを提出してください。
研究業績一覧	/	<input type="checkbox"/>	/	これまでに学術誌に発表した論文や特許及び学会発表等の業績を本学所定のフォーマットに入力してください。 所定のフォーマットは、本学ホームページからダウンロードできます。
修士論文の写し	/	該当者のみ	/	既修了者は修士課程の修士論文の写し(別刷り等)を提出してください。要旨(アブストラクト)も提出してください。
研究計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	研究課題・目的についてA4・1枚・横書きで入力してください。 所定のフォーマットは、本学ホームページからダウンロードできます。
はり師免許・きゅう師免許の写し(鍼灸学分野) 柔道整復師免許の写し(柔道整復学分野)	該当者のみ	/	/	免許証をA4版に縮小コピーしたもの(免許取得見込みの方は免許取得後、すみやかに提出してください)。
受験許可・就学承諾書	該当者のみ			入学後も仕事を継続する者は、所属長の受験・就学許諾を確認できる証明書を提出してください(様式第2号)。 所定の用紙は、本学ホームページからダウンロードできます。
その他	該当者のみ			アドミッションセンターで必要と認める書類。改姓により、現在の氏名と証明書等の氏名が相違する場合は、住民票(マイナンバーの記載なしのもの)または戸籍抄本等により改姓の確認がとれるもの。

●証明書等の発行日付は、2026年4月1日以降のものであること。

1. 出願書類に不備・不足がある場合、受理することができません。
2. 提出された出願書類および入学検定料は、理由の如何にかかわらず返却しません。
3. 出願書類に虚偽の記載が発見された場合には合格発表以後でも入学を取り消すことがあります。

■外国人の受験について

外国人(日本国籍を有しない者)は、上記に加え以下の書類を提出してください。

(1) 国内居住者：出願時に、日本国内において『特別永住者証明書』または『在留カード』を有する者

- ①特別永住者証明書または在留カード
 - ・表・裏の両面を鮮明にコピーしたもの
- ②住民票

- ・3か月以内に発行された、マイナンバーの記載なしのもの
- ・「国籍・地域」および「在留資格・在留期間等」の記載があるもの

(2) 海外居住者：入学までに、日本国内において適切な在留資格を取得できる見込みの者

- ・出願時に日本国内の在留資格を有しない者は、パスポート(顔写真のページ)のコピー
- ・(合格後)入学までに在留資格を取得する旨の誓約書

合格者は入学までに、本学への入学に支障のない在留資格(「留学」等)を自己の責任において取得すること

合格発表

試験	合格発表日
一次募集	2026年11月 2日 (月) 10:00
二次募集	2027年 2月 5日 (金) 10:00

Webにて合否結果を発表します。
 なお、合否に関する問い合わせには一切応じられません。

入学手続

試験	入学手続締切日 (入学金・初年度授業料等納入期限)
一次募集	2026年11月13日 (金)
二次募集	2027年 2月17日 (水)

学納金

【博士前期課程 ・修士課程】

単位：円

	入学金	学納金		合 計 (半期分)
		授業料 (半期分)	施設設備費 (半期分)	
1年次	300,000	1,000,000 (500,000)	200,000 (100,000)	1,500,000 (900,000)
2年次		1,000,000 (500,000)	200,000 (100,000)	1,200,000 (600,000)

【博士後期課程】

単位：円

	入学金	学納金		合 計 (半期分)
		授業料 (半期分)	施設設備費 (半期分)	
1年次	300,000	1,000,000 (500,000)	200,000 (100,000)	1,500,000 (900,000)
2年次以降		1,000,000 (500,000)	200,000 (100,000)	1,200,000 (600,000)

- ・合格者は入学金・学納金手続締切日までに入学金 (300,000円) および学納金 (授業料・施設設備費の合計1,200,000円) を納入してください。
- ・学納金の分納を希望する方は、入学金 (300,000円) および前学期学納金 (授業料・施設設備費合計600,000円) を入学金・学納金手続締切日までに納入してください。後学期分 (授業料・施設設備費合計600,000円) は、入学後10月末日までに納入してください。
- ・3月31日 (水) 12:00までに本学所定の入学辞退手続書を提出し、本学で適正に受理した場合、入学金を除き学納金 (授業料・施設設備費) を後日返還いたします。
- ・学校法人花田学園の設置する学校の出身者 (卒業後5年以内) には、入学金を免除いたします。



本学HP [奨学金・教育ローン]

■奨学金

日本学生支援機構奨学金

第一種奨学金(無利子貸与)、第二種奨学金(有利子貸与)があります。
定期採用の他に、緊急採用(第一種)、応急採用(第二種)があります。

東京都看護師等修学資金 [看護学研究科のみ]

東京都内の看護師等養成施設に在学し、将来東京都内で看護業務に従事する意思がありながら、経済的理由により就学が困難な者に対し、修学資金を貸与(無利子)することにより修学を容易にし、東京都内の看護職員の確保等を図ることを目的とした制度です。

詳細については大学事務局学生課(03-6703-7000)までお問い合わせください。

■教育ローン

国の教育ローン(日本政策金融公庫 国民生活事業)

本学の入学者またはその保護者は、日本政策金融公庫 国民生活事業の「国の教育ローン」を利用することができます。
融資額は学生一人につき350万円以内、返済期間は最長20年以内です。公庫による所定の審査があります。
詳細は教育ローンコールセンター(0570-008656)へお問い合わせください。

その他教育ローン

本学では(株)オリエントコーポレーション(以下オリコ)と提携した教育ローン制度があります。直接オリコにお申し込みいただき、融資金が直接大学に入金されるシステムです。なお、ご利用にあたっては、返済を考慮して他の金融機関の教育ローン条件とも比較検討され、申し込んでください。

詳細はオリコの学費サポートデスク(0120-517-325)へお問い合わせください。

Ⅰ 東京有明医療大学大学院 個人情報保護方針

本学は、個人情報を保護することの重要性を確認し、教育、研究を行う機関としての社会的責務を果たすため、個人情報の保護に関する法令及び関連ガイドライン等に基づき、以下のとおり個人情報保護方針を定め、これを実行するとともに、適宜見直し、改善していきます。

- 1 本学は個人情報を適切に取扱うため「個人情報の保護に関する規程」を定め、本学の教職員その他の関係者に周知徹底し、これを実行します。
- 2 本学は個人情報を取扱うに当たっては、本学の業務に必要な範囲内で、その利用目的をできる限り特定し、その取扱いについての権限を与えられた者のみが、業務の遂行上必要な限りにおいて取扱うものとします。
- 3 本学は個人情報を取得するときは、適切かつ公正な手段により行い、あらかじめその本人に対し、利用目的を明示するか、又は通知し、若しくは公表します。また利用目的を変更する場合は、変更された利用目的について本人に事前に通知または公表いたします。
- 4 本学は本学の取扱う個人データについて、必要に応じて、組織的、人的、物理的及び技術的安全管理措置を講じ、個人データに関する不正アクセス、個人データの消失、破壊、改ざん及び漏洩等を防止します。
- 5 本学は、原則としてあらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者への個人データを提供することはありません。ただし、法令及び本学規程の定めるところにより、所定の個人データを本学関係団体に提供することがあります。この場合には当該個人データの紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の不正な取扱いがなされないよう約定し、適切な管理を実施させます。また、本人が個人データの提供を停止したいときは、本学は、所定の手続きによる請求により遅滞なく当該個人データの提供を停止します。
- 6 本学は業務を委託するために個人データを業者に委託する場合は、適正な基準により業者を選定し、当該個人データの紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の不正な取扱いがなされないよう、必要な契約を締結し、その業者に対し必要かつ適切な監督を行います。
- 7 本学は本人が当該本人の保有個人データについて、開示、内容の訂正、追加若しくは削除、利用の停止、消去又は第三者への提供の停止等の権利を有していることを確認し、本人からこれらの請求がなされた場合は、合理的な範囲で遅滞なく対応します。

個人情報の取り扱いについて

大学院案内や募集要項の請求並びに出願書類により本学が取得する個人情報につきましては、以下の目的で利用いたします。

1. 入学試験業務並びに入学までの一連の業務
2. 入学後の学籍管理等の業務並びに各種通知・連絡業務
3. 修了後の本大学院からの各種通知・連絡業務